

がんセンターNEWS

Aichi Cancer Center News

がん征圧講演会を開催しました～がんの診断・治療・予防について～

日時 平成17年9月17日(土) 13:00～16:00

場所 愛知県がんセンター国際医学交流センター

がんセンターでは県民の皆様を対象に「がんー予防から治療まで」をメインテーマとして毎年7月から11月頃にかけて3～4回公開講座を開催しています。また、「がん征圧月間」である9月にはがん征圧講演会を開催し、今年度は9月17日(土)に開催しました。

残暑厳しい中、会場がほぼ満席となる程多くの方が聴講されました。

講演内容は、最先端の研究や治療などについて、研究所と中央病院の医師・看護師ら5名の講師が紹介をしました。



参加者から講師に多くの質問をいただきました

第1部 がんにかかりにくい人たちの生活習慣とは？

研究所副所長兼疫学・予防部長 ● 田島 和雄
古くて新しいがんの診断法、病理診断

遺伝子病理診断部 部長 ● 谷田部 恭

第2部 発展する外来で行うがん治療

外来部 部長 ● 平井 孝
胃がんを内視鏡で治すには・・・

内視鏡部 部長 ● 中村 常哉
がん治療における看護者の役割

看護部 部長 ● 兵藤 千草

催し物のお知らせ

県民の皆様を対象とした公開講座は、今年度は10月29日(土)が最後となります。講演会は申し込みが既に終了していますが、研究所研究内容パネル展示と研究所見学ツアーにご参加ください。

開催日時	テーマ・内容
平成17年10月29日(土) (1)第43回日本癌治療学会・県民公開講座 13:00～15:30	「信頼されるがん医療への道ー身体へのケア、心のケアー」 岐阜大学／名誉教授／佐治重豊 始め3 講演 (事前申し込み制:申込受付は終了しました)
(2)研究所研究内容のパネル展示 10:00～16:00	ー最先端のがん研究とはー パネル、模型等を使って分かりやすく紹介 します。 申込不要・無料 自由にご見学ください。
(3)研究所見学ツアー 10:00～14:00	「研究所見学ツアー」 30分おきに20名ずつ研究所をご案内します。 当日申し込み制:先着160名

◇場所 : 愛知県がんセンター 国際医学交流センター

◇問合せ先 : 株式会社 セントラルコンベンションサービス 日本癌治療学会 県民公開講座 係

〒460-0011 名古屋市中区大須4-11-5 杏林産産ビル TEL 052-269-3181, FAX 052-269-3252

科学的な基盤を持つ免疫療法の確立をめざして

研究所からの報告

ヒトの免疫担当細胞は、体内で発生したがん細胞を見つけて排除する潜在能力を持っています。がん細胞を発見して攻撃する主な免疫担当細胞はキラーT細胞と呼ばれます。

がん細胞内には、がん細胞の目印となる“がん抗原”というタンパク質があります。そのがん抗原は、細胞内で“ペプチド”と呼ばれる9個前後のアミノ酸（タンパク質の構成成分）に分断されてHLA（ヒト主要組織適合抗原）と結合します（図1）。そして、キラーT細胞は、T細胞レセプターと呼ばれる分子を“目”としてHLAとペプチドの両方を見てがん細胞を見つけます。

HLAは人それぞれ異なります。また、ペプチドとHLAの間には相性があるためHLAの型にあった固有のペプチドを見つける必要があります。こうして見つけれられたペプチドはがんワクチンとして用いたり、体外でキラーT細胞を増やすことに使用できます。また、血液中のキラーT細胞の数を測定する試薬としても有用です（図2）。

腫瘍免疫学部ではこれまで様々なキラーT細胞が認識するペプチドを同定してきました。がんウイルスの代表であるエプスタイン・バー・ウイルスやヒトパピローマウイルス、がん細胞に高発現するEpCAMという蛋白、骨髄移植後の白血病に出ているマイナー組織適合抗原などに由来するペプチドです。今後は、さらに研究を進めてがんの治療や再発予防などに役立てていきたいと考えています。



研究所
腫瘍免疫学部
部長 葛島清隆

がん抗原はペプチドになってT細胞に見つかる

キラーT細胞が認識するペプチドを同定

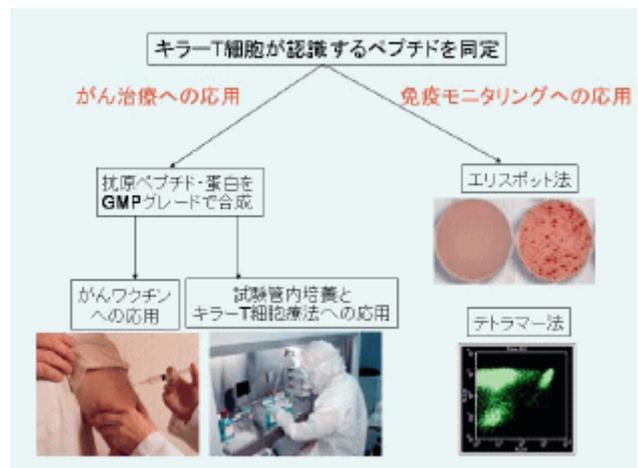
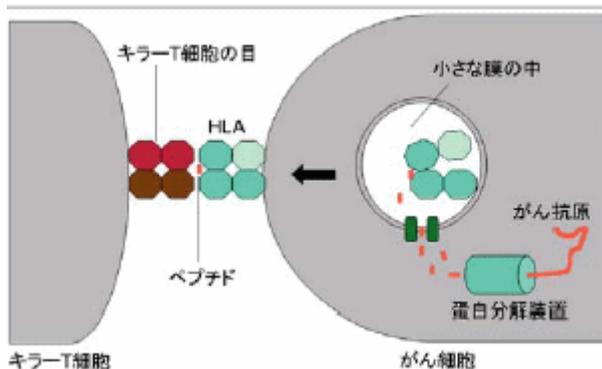


図1. キラーT細胞が“がん抗原”に由来する小さな“ペプチド”を見つける仕組みを示します。

図2. キラーT細胞が認識するペプチドを決定した後に、どのような臨床応用が可能になるかを示します。エリスポット法とテトラマー法は、がんワクチンを受けた患者様の血液中のキラーT細胞数を測定する代表的な方法です。

光富徹哉 胸部外科部長 JCA-Mauvernay賞を受賞

JCA-Mauvernay賞とは？

日本癌学会とスイスの製薬会社であるDebiopharm社は、本年、日本癌学会学術賞の一つとして“JCAMauvernay (モヴェルネ) Award”を設けました。

この賞は、がんの基礎的および臨床的研究領域においてすぐれた成果を上げた研究者それぞれ一名に日本癌学会総会において授与されるものです。

光富部長から一言

今回、幸運にも“肺癌の分子病理学とその臨床への応用”というテーマで臨床的研究領域の賞を頂くことができました。大変光栄なことで、愛知県がんセンターの皆様、とくに肺癌研究グループ諸先生方に深甚なる感謝の意を表したいと思います。



中央病院からの報告

卵巣がんの治療成績向上を目指して



中央病院
婦人科部
部長 中西 透

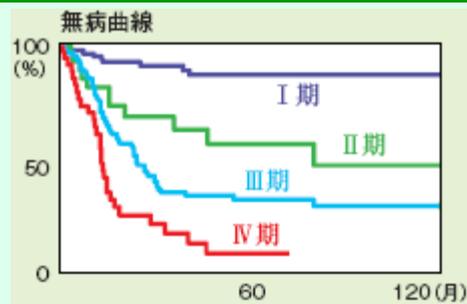
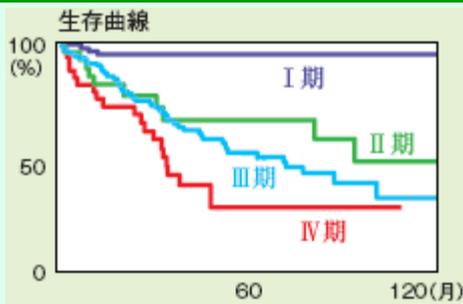
婦人科部は女性生殖器に発生する悪性腫瘍の診療を行っており、主に取り扱う疾患は子宮頸がんとう子宮体がん、それに卵巣がんです。

卵巣がんは、子宮の両側にある卵巣に発生する悪性腫瘍ですが、卵管に発生する卵管がんや腹膜に発生する腹膜がんも、蔓延形式や治療方針が類似していることから卵巣がんとして分類されます。腹部膨満等の臨床症状が少ないこと、手術以外での病理学的な確定診断が難しいこと、早期診断が難しく進行がんて診断される場合が多いこと、蔓延状況や合併症により様々な臨床所見が生じることなどから、卵巣がんは臨床診断が難しい悪性腫瘍と考えられています。

卵巣がんの治療は主に手術と化学療法が用いられますが、十分な治療効果を得るには手術ではできるだけ腫瘍を切除し、化学療法では標準的な薬剤を定められた用量で投与することが必要です。

近年、新しい抗がん剤の導入により治療成績は改善しており、適確な診断と適切な治療によりさらなる改善が期待されます。

卵巣がんの進行期別治療成績

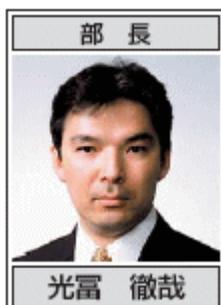


進行期	症例数	生存率		無病率	
		5年	10年	5年	10年
全体	275	63.2%	49.9%	48.1%	45.3%
I期	82	94.9%	94.9%	86.7%	86.7%
II期	29	66.7%	48.6%	56.5%	47.1%
III期	130	52.4%	32.6%	31.8%	28.9%
IV期	34	28.8%	28.8%	8.7%	8.7%

(1995~2004年 愛知県がんセンター病院婦人科統計)

診察医の紹介 今回は、胸部外科部です。

胸部の悪性腫瘍(肺がん、食道がん、縦隔腫瘍、転移性肺腫瘍)の外科治療を中心に行っています。2004年には原発性肺がん144例、食道がん38例の手術を行いました。関連する他科と定期的にカンファレンスを持ち、標準治療をふまえた安全な治療を提供するように努めています。



主な診療案内

平成17年10月1日現在の中央病院外来診療担当一覧です。

受付時間: 午前8時30分から午前11時30分まで

(自動再来受付機) 午前8時から午前11時30分まで

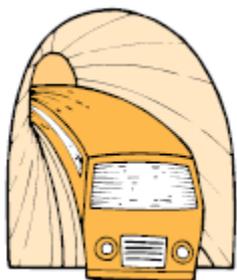
診療科	月	火	水	木	金
総合初診	山雄	樋田	山雄	森島	大熊
消化器内科	山雄(初診)・田近河合	山雄(初診)・水野河合・澤木	山雄(初診)・高橋澤木	中村・高橋澤木(初診)	中村(初診)・田近水野
呼吸器内科	[初診] 樋田(第1・5) 吉田(第2)・堀尾(第3) 清水(第4) [再来] 堀尾	樋田(初診)・吉田	清水(初診)・樋田	堀尾(初診)・清水	吉田(初診)
循環器	波多野	大熊	大熊	波多野	大熊
血液・細胞療法 薬物療法	山本(初診) 鏡味・田地	森島・山本・神谷	鏡味(初診)・田地	森島・山本・神谷	鏡味・田地(初診) 神谷
頭頸部外科	長谷川・小川		長谷川・兵藤	(予約のみ) 寺田(第1・3)・小川(第2・4) (第5交代制) 長谷川 寺田・小川・兵藤	寺田 兵藤(第2・4予約のみ)
胸部外科	(予約のみ)	(予約のみ)	(予約のみ)	光富・波戸岡	光富・篠田 波戸岡・森
乳腺科	藤田(初診) 角田・林	林(初診)・岩田 角田	角田(初診)・岩田 山下	山下(初診)・岩田 林・藤田(午前のみ)	岩田(初診)・角田 山下・藤田(午前のみ)
消化器外科	山村(第2・4) 伊藤(第1・3・5)・小森	金光・望月	加藤・山村・清水	安井・平井・伊藤	(予約のみ)
整形外科	杉浦・山田	杉浦	山田		杉浦(第1・3・5) 山田(第2・4)
泌尿器科	林		脇田	林・脇田	
婦人科	丹羽(初診) 水野(初診)	中西・伊藤(初診) 丹羽(第1・3・5) 水野(第2・4)	伊藤 水野(初診第1・3・5) 丹羽(初診第2・4)	中西(初診) 水野・丹羽	中西(初診) 伊藤(第2・4)
放射線診断部	稲葉(初診)・佐藤		稲葉(初診)・山浦		稲葉・林
放射線治療部	不破・古平	古平・立花	不破・立花	不破・立花	不破・古平

※医師名の後の数字は、月の週を表します。 ※変更(休診)等がございますので、お電話でご確認ください。

※再診予約制: 診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。

※052-764-2911(直通)午前9時~午後5時(土・日・祝・年末年始除く)

交通案内



地下鉄利用:[自由ヶ丘]②番出口から 徒歩7分

- ◎名古屋・栄から 所要時間: 名古屋から約30分
東山線「藤ヶ丘」行き乗車、「本山」乗り換え、名城線「左回り」乗車、「自由ヶ丘」下車。
- ◎金山・栄・大曽根から 所要時間: 金山から約35分
名城線乗車、「自由ヶ丘」下車。

市バス利用:[千種台中学校]下車 徒歩4分

- ◎名古屋駅から 所要時間: 名古屋駅から約40分
基幹2系統[光ヶ丘]または[猪高車庫]行き乗車、「千種台中学校」下車。
- ◎星ヶ丘から 所要時間: 星ヶ丘から約20分
星丘11系統[地下鉄自由ヶ丘]行き乗車、「千種台中学校」下車。

所在地 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1-1

Tel.(052)762-6111(代)

URL;<http://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>

Fax.(052)764-2963